

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成26年4月1日～平成30年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市勤労市民プラザ（長沼原・幕張）
条例上の設置目的	勤労市民の文化の向上及び健康の増進を図り、もって福祉の増進に寄与するため、勤労市民プラザを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	勤労市民が安心し、喜びをもって働くことができるよう、雇用対策をはじめ、労働環境の整備や福利厚生の実施等、市が展開する各種施策の一端を担う。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	勤労市民の多様な学習・サークル活動、さらにはスポーツ等の活動の場所として、会議室・多目的ホール・体育館・トレーニング室等多くの機能を備えた施設の効率的かつ効果的な利用促進による、勤労者福祉の増進。
制度導入により見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者目線に立った、事業の企画及び実施、施設の管理等に関するノウハウによる、効率的かつ効果的な施設の管理運営。 ・柔軟な料金設定や幅広い広報による、施設の利用促進。 ・実地の状況に即した対応による、施設の保全・トラブルの未然防止。 ・指定管理者のノウハウと経験を活かした、地域連携との多種多様な企画による、施設の効果的な活用及び利用促進。
指定管理者名	Fun Space・オーチュー共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	Fun Space株式会社（代表企業）
	株式会社オーチュー（構成企業）
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年）
所管課	経済農政局経済部雇用推進課

2 成果指標等の推移

(1) 利用者数（成果指標1）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
実績値	229,990人	239,132人	241,526人	157,039人	867,687人
数値目標※	235,000人	235,000人	235,000人	235,000人	940,000人
達成率	97.9%	101.8%	102.8%	66.8%	92.3%

	見込み数	合計
幕張勤労市民プラザは大規模改修により、 H29.7-H30.3の9か月休館していた。休館して いなかったと仮定した場合の見込み数を算定。	$H29.4-6月実績 \times \frac{H28.年間実}{H28.4-6月実}$ 244,448人	955,096人
	235,000人	940,000人
	104.0%	101.6%

(2) 稼働率（成果指標2）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
実績値	53.50%	56.30%	55.80%	55.53%	55.28%
数値目標※	57.50%	57.50%	57.50%	57.50%	57.50%
達成率	93.0%	97.9%	97.0%	96.6%	96.1%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
利用件数	16,672件	17,735件	17,202件	12,105件	63,714件
利用料金	44,422,425円	46,640,430円	46,352,785円	26,942,475円	164,358,115円

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
必須業務	指定管理料	実績	61,323	60,603	60,716	55,473	238,115
		計画	61,323	60,603	60,716	55,473	238,115
	利用料金	実績	44,422	46,640	46,353	26,942	164,357
		計画	42,483	42,908	43,337	24,336	153,064
	その他	実績	0	0	0	0	0
		計画	0	0	0	0	0
	合計	実績	105,745	107,243	107,069	82,415	402,472
		計画	103,806	103,511	104,053	79,809	391,179
	支出	実績	103,955	100,881	98,226	75,858	378,920
		計画	103,806	103,511	104,053	79,809	391,179
収支	実績	1,790	6,362	8,843	6,557	23,552	
自主事業	収入	実績	18,380	21,667	25,467	16,650	82,164
		計画					0
	支出	実績	16,860	19,662	22,128	13,845	72,495
		計画					0
収支	実績	1,520	2,005	3,339	2,805	9,669	
総収入	実績	124,125	128,910	132,536	99,065	484,636	
総支出	実績	120,815	120,543	120,354	89,703	451,415	
総収支	実績	3,310	8,367	12,182	9,362	33,221	
利益の還元額	実績	662	1,673	2,436	1,311		
利益還元の内容		コードレスバイク等備品の購入	エアロバイク等備品の購入	バレー支柱等備品の購入	ブラインド備品購入		

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	成果指標の項目である「利用人数（達成率92.3%）」及び「稼働率（達成率96.1%）」について概ね目標値に近い水準を達成した。（85%以上105%未満：C）
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	選定時の提案額と5%未満の削減を実施した。（5%未満の削減：C）
3 市民の平等な利用の確保・施設の適正管理		
（1）関係法令等の遵守	C	市民の平等利用や関係法令等に従った運営はもちろんのこと、顧問弁護士、社労士、税理士、本社IT管理室等の元で作成している社内コンプライアンスにより、より厳密に運営管理を行った。
（2）リスクに対する考え方	C	定期的な点検及び巡回、研修及び訓練、日常的に関係機関（警察、消防、市等）との密な連携、大規模な防災イベントの実施により防犯・防災を未然に防ぐことに努めた。人命や多額の金銭等係るような重大な事故は発生していない。軽微な事故や急病者等への対応は、予め策定した危機管理マニュアルに基づき適切に対応した。
4 施設管理能力		
（1）安定的な管理運営を行う体制	B	責任者が営業時間中常駐するのはもちろんのこと、利用者の多い、日中は責任者を2名配置し、円滑な管理運営ができ、また緊急時にも速やかに対応できる体制を整えた。 研修の実施は当然のこととして、独自の組織内におけるプライベートネットワークを活用した、市内7施設、全国30施設の、全管理施設との情報共有により、管理能力の向上（例えばイベント事例の共有による企画立案能力向上等）に取り組んだ。 これらのことから、安定的な管理運営を行う体制については、基準を上回る管理運営が行われていると認められる。
（2）施設の維持管理	C	施設の維持管理について、日常的な保守管理、予防保全業務を水準通りに行うことは最低限のこととして当然に行った。修繕予定箇所については、金額の多寡によらず事前に市に報告し、修繕状況の共有化を図った。LED照明への切替え等、施設のランニングコストの低減を図った。
5 施設の効用の発揮		
（1）開館日・休館日の扱い	C	事業計画どおり実施した。

<p>(2) 利用者サービスの向上・利用者への支援</p>	<p>B</p>	<p>対面でのコミュニケーション、アンケート、インターネットを駆使し、利用者の意見を吸い上げ、収集した情報は職員全員で共有すると共に、対応策を検討し、サービス向上に努めた。また館内にご要望への対応や進捗状況をお知らせするボードを設置し、利用者によりフィードバックした。こうした取組により、利用者との職員の認識の乖離を埋めながら、PDCAサイクルをまわし、常にサービスの改善に努めた。</p> <p>利用者の制作した作品やイベントの写真を展示することで、利用者が親しみを感じられる快適な館内雰囲気作りに取り組んだ。</p> <p>これらのことから利用者サービスの向上・利用者への支援については、基準を上回る管理運営が行われていると認められる。</p>
<p>(3) 利用促進の方策</p>	<p>B</p>	<p>勤労者の参加に配慮した内容の事業を実施するとともに、勤労者が利用しやすい夜間利用を促進するなど、施設に求められる社会的役割を認識した施設運営が行われている。</p> <p>地域や地域住民との交流・連携では、地域に根付いたネットワークを活かしたイベントを実施するとともに、地域の行事にも積極的に参加するほか、防災訓練を共同で行うなど、地域との関係性を深めた施設運営が図られていることが認められる。</p> <p>近隣の学校から、職場体験の受け入れを行うほか、教育委員会の後援を受け、子ども向けの講座を実施するなど、教育機関との連携が図られているとともに、事業の普及やPRを行うため、HPを活用し情報発信を行っている。</p> <p>これらのことから、施設の利用促進については、基準を上回る管理運営が行われていると認められる。</p>
<p>(4) 自主事業の実施</p>	<p>A</p>	<p>単体では収益が確保できない事業も地域や住民のニーズ、施設活性化、利用者への還元の見地から実施した。その結果、利用者増加に繋がり、事業全体としては収益が増加した。</p> <p>「①老若男女が興味を持てる多種多様な講座」、「②日中・夜間等の活動可能時間帯に配慮した日程の設定」、「③レクチャーを中心とした座学型だけではなく、対話や体験を重視した参加型の講座の実施」等を意識した幅広い講座することで、様々な利用者のニーズに応える事業運営が行われている。</p> <p>常にアンテナをはり、現状維持は後退であるという意識を持ち、毎年、改善や新たな試みをしており、時流に乗った事業運営に努めている。</p> <p>市の施策にも共鳴し、市の施策の推進に資する取組を実施した。</p> <p>これらのことから自主事業については、基準を上回る管理運営が行われていると認められる。</p>

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

○	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<p>(1) 施設の満足度を問う調査では、4年間を通じて70点以上を維持しており、総合的に利用者に満足していただいている。 (70点以上が合格点であり、26年度は72.4点、27年度は75.1点、28年度は71.3点、29年度は70.6点)</p> <p>(2) 必須事業の安定的な事業運営に加えて、魅力的な自主事業の実施が行われた。 (自主事業の収入-支出：26年度1,520千円、27年度2,005千円、28年度3,339千円、29年度2,805千円)</p>
--

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

特になし

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・概ね適切に管理運営が行われていると認められる。 ・特に自主事業については、「①単体では収益が確保できない事業もニーズ、施設活性化、利用者への還元観点から実施したこと」、「②市の施策の推進に資する取組を実施したこと」、「③その結果、利用者の増加に繋がり、事業全体として収益が増加したこと」を受けて、高い評価となっており、今後についても、変わり続ける社会情勢に対応した管理運営を継続し、利用実態を踏まえながら、地域に即した取組・支援を推進していただきたい。
--